

2020 年 5 月 20 日作成

1. 下記研究課題につきまして、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施いたします。

研究課題名：精神療法の基本を学ぶ手段としての動機づけ面接

2. 研究機関・研究責任者、情報管理責任者： 京都大学医学部附属病院 精神科神経科 挟間雅章

3. 研究の目的・意義

日本では精神療法の基本を学ぶ方法が確立していません。一方、動機づけ面接は、さまざまな臨床場面で利用できる、シンプルに原理を説明できる、トレーニング方法が体系化されている、認知行動療法など専門的な精神療法や薬物療法と組み合わせて相乗効果が得られる、といったさまざまな利点があり、精神療法の基本を学ぶ手段として適していると考えられます。

そこで本研究は、動機づけ面接の研修会「京都動機づけ面接を学ぶ会」の参加者した方々の職種や所属先、および参加者の皆様からのご意見を省察することにより、精神療法の基礎を学ぶ手段として動機づけ面接が適切であるか、そしてどのように改善できるかを検証することを目的としています。

本研究の結果は、精神療法のトレーニングを体系化し整備するにあたって意義があると考えられます。

4. 研究実施期間

倫理審査承認日から 3 年間

5. 利用する情報の項目

「京都動機づけ面接を学ぶ会」に参加された時に参加者名簿に書いていただいた職種と所属先名、および 2019 年 3 月 18 日に参加者の皆様にメールでお送りしたアンケート*に回答していただいた内容です。

*アンケート：

- 1) 動機づけ面接に初めて触れたのはこの勉強会ですか？ 不要な選択肢を消してください。

はい いいえ その他 ()

2) 動機づけ面接を学んで変わったことはありますか？

はい いいえ で答えてください。

はい と答えた方は、具体的にお書きください。

3) ご感想、ご意見などございましたら、ぜひどうぞ。

6. 情報の利用目的・利用方法

動機づけ面接の研修会がどのような職種や所属の方に関心を持っていたかを確認するため、参加者の方々の職種や所属ごとに分類して統計解析します。

また、動機づけ面接やその研修会が参加者の皆様にどのような影響を与えたかを調べるため、アンケートの回答を質的データ分析手法である SCAT(大谷、2011)に基づいて概念化と理論記述を行います。

データは匿名化して個人情報进行削除するため、個人が特定される情報が公表されたり外部に漏れたりすることはありません。

7. 対象となる情報の取得期間

2014 年 9 月 4 日から 2019 年 2 月 28 日までの間に「京都動機づけ面接を学ぶ会」に参加した方々、およびメールでお送りしたアンケートに 2019 年 3 月 18 日から 2019 年 4 月 11 日までの間に返信していただいた方々。

8. 本研究を実施する共同研究機関

ありません。

9. 研究資金・利益相反

本研究は京都大学医学部精神科神経科に対する奨学寄附金を財源とします。資金提供者の研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与はありません。利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理します。

10. 研究で情報が利用されることを希望されない場合、研究に関する資料を希望される場合

本研究で情報が利用されることを希望されない場合は、研修の対象となる方または代理人の方から下記の連絡先にその旨をご連絡ください。その方の情報の利用を停止いたします。

また、研究に関するご質問、ご苦情、資料のご希望等がございましたら、下記の連絡先に

ご連絡ください。

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

京都大学医学部附属病院精神科神経科 Tel: 075-751-4947

(担当者名) 挾間 雅章

(e-mail) masahaza@kuhp.kyoto-u.ac.jp

または

京都大学医学部附属病院 相談支援センター Tel:075-751-4748

(e-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp